

講義名	実習①支援の現場の実際 (日本語指導実習の準備)	講座担当者	日下部喜美子(蓬莱日本語教室)
単位数	6	研修形式	講義、ワークショップ、実習(参与観察、指導案の作成)
実施日時	2019年9月28日(土) 12:30~17:30	実施会場	(公財)福島県国際交流協会 福島大学サテライト街なかランチ
実習の目標及び特に目指す受講者の知識・技能・態度			
<p>実習の目標 福島県の支援の現状を知り、支援の現場を見学し、チームで実習の指導案を作成する。 今までの研修を振り返る。</p> <p>特に目指す受講者の知識・技能・態度</p> <p>技能 ① 子ども一人一人の年齢、ことばと認知面の力、文化的背景に応じて、日本語の学習活動を設計することができる。</p> <p>② 子どもの生活や学習場面に関連づけて、教材・教具を選んだり作成したりして、指導することができる。</p> <p>③ 子どもの日本語および母語等の言語のちからを、多面的に把握することができる。</p> <p>態度 ① 子どもたちが、将来どのように社会の一員として生活するのかをイメージして、日本語学習支援の内容や方法を考えて実践しようとする。</p> <p>※①②③は、本研修で設定した養成を目指す「資質・能力」の番号である。「自己評価シート」参照</p>			
実習内容			
<p>1 福島県の子どもの日本語支援の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島県の外国籍児童生徒の数と日本語指導を必要とする児童生徒の数 ・日本語指導担当の加配教員の数 ・学校での日本語支援の制度と状況 ・学校内での日本語支援の状況 <p>2 今までの研修を振り返る(ワークショップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3, 4人のグループを作り、研修の感想を話す ・研修で得た成果を付箋に書き出し、知識、技能、態度に分けて分類し、共有する ・もっと知りたいこと(ニーズ)を書き出し、共有する <p>3 子ども日本語教室「土曜広場」を見学する</p> <p>4 実習のための指導案を2つ作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3, 4人のグループを作り、チームで50分の指導案を作成する ・グループを替え、2つ目の指導案を同様に作る 			
成績評価方法			
<p>実習への出席後、課題を提出する。 他の講義と併せて、80%の出席と課題の達成度60%で修了証を授与する。</p> <p>[課題] チームで作った実習指導案を実習実施4日前までに提出する。</p>			
参考			
<p>(公財)福島県国際交流協会ホームページ 「ふくしま外国の子どもサポートセンター」 http://worldvillage.org/kodomo/index.htm</p>			

講義名	実習②(支援活動の実施と参与観察)	講座担当者	三田真理子 (こおりやま日本語教室)
単位数	6	講義形式	講義、ワークショップ、実習(支援活動、参与観察)
実施日時	2019年11月23日(土) 12:30~17:30	実施会場	郡山市子ども総合支援センター(ニコニコ子ども館)
実習の目標及び特に目指す受講者の知識・技能・態度			
<p>実習の目標</p> <p>日本語の支援活動をし、他のグループの支援活動を見学し、作成した指導案と指導内容が適切であったか振り返る。</p> <p>特に目指す受講者の知識・技能・態度</p> <p>技能 ① 子ども一人一人の年齢、ことばと認知面の力、文化的背景に応じて、日本語の学習活動を設計することができる。</p> <p>② 子どもの生活や学習場面に関連づけて、教材・教具を選んだり作成したりして、指導することができる。</p> <p>③ 子どもの日本語および母語等の言語のちからを、多面的に把握することができる。</p> <p>④ 自身の支援を振り返り、改善しようと試みる。</p> <p>態度 ① 子どもたちが、将来どのように社会の一員として生活するのかをイメージして、日本語学習支援の内容や方法を考えて実践しようとする。</p> <p>※①②③④は、本研修で設定した養成を目指す「資質・能力」の番号である。「自己評価シート」参照</p>			
実習内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1 こおりやま日本語教室の概要 2 実習対象児童生徒の説明 3 指導案の再検討、日本語の支援活動の準備 4 支援活動(50分)と他チームの支援活動の参与観察(50分) 5 支援活動の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・チーム内での振り返り ・全体での振り返り 			
成績評価方法			
<p>実習への出席後、課題を提出する。</p> <p>他の講義と併せて、80%の出席と課題の達成度60%で修了証を授与する。</p> <p>〔課題〕</p> <p>各自、実習の振り返り、指導内容報告書、実習見学ワークシートを提出する。</p>			
参考			
こおりやま日本語教室 http://koriyama-nihongo.org/			

講義名	実習③(支援活動の実施と参与観察)	講座担当者	佐々木千賀子(ふくしま子どもの日本語ネットワーク)
単位数	6	講義形式	講義、ワークショップ、実習(支援活動、参与観察)
実施日時	2019年10月26日(土) 12:30~17:30	実施会場	(公財)福島県国際交流協会
実習の目標及び特に目指す受講者の知識・技能・態度			
<p>実習の目標</p> <p>日本語の支援活動をし、他のグループの支援活動を見学し、作成した指導案と指導内容が適切であったか振り返る。</p> <p>特に目指す受講者の知識・技能・態度</p> <p>技能 ① 子ども一人一人の年齢、ことばと認知面の力、文化的背景に応じて、日本語の学習活動を設計することができる。</p> <p>② 子どもの生活や学習場面に関連づけて、教材・教具を選んだり作成したりして、指導することができる。</p> <p>③ 子どもの日本語および母語等の言語のちからを、多面的に把握することができる。</p> <p>④ 自身の支援を振り返り、改善しようと試みる。</p> <p>態度 ① 子どもたちが、将来どのように社会の一員として生活するのかをイメージして、日本語学習支援の内容や方法を考えて実践しようとする。</p> <p>※①②③④は、本研修で設定した養成を目指す「資質・能力」の番号である。「自己評価シート」参照</p>			
実習内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1 ふくしま子どもの日本語ネットワークの概要 2 実習対象児童生徒の説明 3 指導案の再検討、日本語の支援活動の準備 4 支援活動(50分)と他チームの支援活動の参与観察(50分) 5 支援活動の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・チーム内での振り返り ・全体での振り返り 			
成績評価方法			
<p>実習への出席後、課題を提出する。</p> <p>他の講義と併せて、80%の出席と課題の達成度60%で修了証を授与する。</p> <p>〔課題〕</p> <p>各自、実習の振り返り、指導内容報告書、実習見学ワークシートを提出する。</p>			
参考			
ふくしま子どもの日本語ネットワーク https://www.facebook.com/fukushima.konet			